

## 災害派遣だより【4月29日】

(聞き手：八戸航空基地 広報室)

4月29日(金)に機動施設隊の第1次派遣隊員が、八戸航空基地に向け陸上自衛隊健軍駐屯地(熊本県熊本市)を出発しました。

### 機動施設隊 1等海尉 相馬秀輔(八戸市出身)

Q1 今回の活動の中で、一番大変だったことや困ったことは何ですか？

道路啓開の作業では、自治会長や家の所有者の方に立ち会ってもらい倒壊した家屋のがれきの撤去や運搬をしました。一軒一軒の家に所有者の思い出があり、所有者の気持ちに寄り添って丁寧な作業を心がけました。また、雨の日が多く足元が滑りやすい状態だったので、安全な作業に気を配りました。

Q2 今回の活動の中で、思ったことや感じたこと、心に残ったことはありますか？

陸空自衛隊の隊員と協力して作業するのは初めてでしたが、一つの目標に向かって一緒に作業をすることができ、とてもよい経験となりました。

Q3 出発を前にした今の気持ちを教えてください。

被災地は、これから少しずつ復興していくと感じています。私たちはまもなく被災地を離れ八戸航空基地に向け出発しますが、要請があればすぐに対応できる態勢を維持します。

### 機動施設隊 海士長 佐々木未来(岩手県出身)

Q1 今回の活動の中で、一番大変だったことや困ったことは何ですか？

道路啓開の作業中に、住民の方々から「この先の道は通れますか？」「この近くの家を訪ねたいのだけれど安全ですか？」などと質問されることが多かったです。作業している地区以外の現状がわからず、答えられないのが残念で申し訳なかったです。

Q2 今回の活動の中で、思ったことや感じたこと、心に残ったことはありますか？

熊本市東区沼山津で道路啓開等の作業が多かったのですが、益城町総合運動公園の給水支援(風呂用)に行ったときは、さらに被害が大きく心が痛かったです。でも、入浴を終えた方から「気持ちよかったよ。」「さっぱりしたよ。」と声をかけられたときは嬉しかったです。

Q3 出発を前にした今の気持ちを教えてください。

これからも復旧のための作業はまだまだ続きます。一度、八戸に戻ったとしても、何かあったらすぐに出られるような態勢を整えていきたいと思っています。